

「聖域」大幅開放

TPP大筋合意

日本農業新聞

四季

2015・10・6

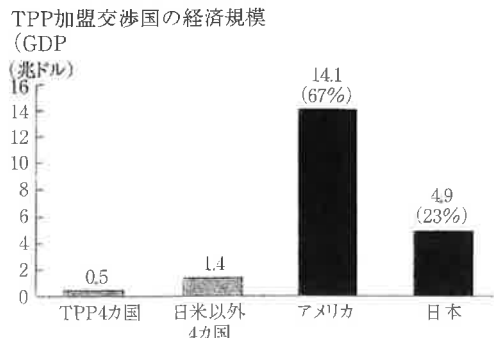
5年半に及ぶTPP交渉は幕引きを迎えるのか。12カ国の閣僚合意は政治的妥協を重ね、「大筋合意」づくりに腐心した。交渉は2010年米国や豪州などを交え8カ国で始動。日本は2年前に高い入場料を払い、聖域確保の成算もないまま前めりに譲歩カードを切り続けた▼安倍首相は先の米国議会で約束した安保法制成就とTPP妥結に道筋をつけ、さぞ満悦である組閣に臨むだろう。色あせたアベノミクスにTPPという厚化粧を施し、またぞろ成長を連呼する様が目に浮かぶ▼政府は「国益にかなう最善の道を追及し成功裏にまごめた」と胸を張るだろうが、「密室で国益を際限なく切り売りし秘密裏に手を打った」としか思えない。国会や司法の場で国会決議との整合性が厳しく問われよう▼かつてチリのピノチエト独裁政権は、米国の意を受けて新自由主義経済を押し進め貧富の差を広げた。軍事政権に国外追放された人が「抵抗の一步は記憶を抹消させないようすること」という言葉を残している▼(ウソつかない。TPP断固反対。ブレイク)。自民党が政権奪回した時の選挙ポスターを忘れない。閣僚合意を記憶に刻み、妥協内容を検証し、真の国益を守る抵抗の新たな一歩を踏み出そう。国民不在の幕引きは許されない。

食品の安全基準は、どうなる？

- ① 冷凍ポテトは油で加熱するので、大腸菌検査をやめろ。
- ② 残留農薬の規制がアメリカにくらべ厳しいのは非関税障壁だ。
- ③ アメリカ産米は安全だから、何度も検査するな。
- ④ BSE（狂牛病）は発生していないから、牛肉の輸入規制を緩和しろ。
- ⑤ 加工食品の輸入を制限している五二種類の添加物を認めろ。
- ⑥ 遺伝子組み換えの表示義務をなくせ。



けっきょく、日本とアメリカ...



10.21 国際反戦デー富山県民集会

とき : 2015年10月21日 18:15 ~
ところ : 富山駅前CiC前広場